岡谷西部中学校「ＴＡＫＯＹＡＭＡ」

「これからの岡谷」提案発表

１　道の駅「オアシス岡谷」プラン

●スワンドーム付近へ道の駅「オアシス岡谷」の誘致。

・道の駅における「うまいもの市」の開催と屋台による出店。
（うなぎ、おやきなど郷土の伝統食の出店）

・諏訪湖での２人乗りボートの設置

・自転車サイクリングコースの設置
（競技・トレーニング的な「バリバリコース」と、観光や景観を楽しむ「観光コース」）

・子ども用遊具やドッグランの整備

・足湯温泉の整備

●質疑事項

Ｑ：スワンドーム付近という場所の選定理由は？

Ａ：景観がきれい。春は横川の桜もある

●市長の意見

・諏訪湖畔は市民の憩いの場として整備をしているが、美しい水辺を楽しむため「アダプトプログラム」として、市民や事業所と一緒に湖畔の環境整備を実施している。

・自転車サイクリングロードは、諏訪湖周２市１町で検討中。

２　イオン誘致プラン

●夏明の山林へのイオンの誘致

・全国的に有名で、品数も豊富なショッピングモールの誘致

・うなぎ、シルクなどの地元の物産を販売するスペースを設ける。

・市中心部からの無料シャトルバスの運行

・周辺道路に桜を植え、桜祭りを開催（歩行者天国、屋台）

・ネットショップを開設し、地元物産を販売

●質疑事項

Ｑ：夏明という場所の選定理由

Ａ：広大な土地がある

Ｑ：市内でよく買い物する場所は？

Ａ：西友、アピタ、オギノ
（佐久・甲府のイオンへも良く行く生徒もあり）

Ｑ：アピタでなくイオンである理由

Ａ：品数が多いから

●市長の意見

・大きな店舗を呼びたい、ネットショップが便利という気持ちも分かるが、地元の小さな商店の事も考えなくてはならない。

・桜の管理はどうすればいいか。
また、春以外のシーズンには、何を売りにすればいいか。
→（生徒）さくらスイーツを開発

３　シルクフェアプラン

●シルクフェア（イベント）の開催

・富岡製糸場の世界遺産で注目を受けている。県内外からもシルク関連の協力店を募って開催（９月中旬）。

・買い物した金額によってくじ引きを行い、地元特産品を進呈

・シルクでのものづくりを推進するため、学校・児童生徒などからシルクで作った製品・商品のコンテスト・展示を行う。なお、その際に使用するシルクは、学校で飼った蚕・繭から取れたシルクを使用する。

・糸取りなどの体験コーナーの設置

・生糸（シルクから作った綱？）で綱引き

・インターネット、ＴＶ、広告で大々的に宣伝を行い、シルクに興味を持ってもらう。

・会場は、ララオカヤの２階を活用する。

●質疑事項

Ｑ：蚕を育てたことはあるか。
Ａ：小学校の時、違うクラスで育てていた。

●市長の意見

・シルクで作った綱での綱引きが可能かどうかはわからないが、面白い発想だ。

３つの提案に対する市長のコメント

・アイデアをたくさんいただいた。難しいものもあるが、シルクを使った製品・商品のコンテストは面白い意見だ。可能なものについては検討してみたい。

・皆さんこれから成長して、就職や進学すると思うが、これからも岡谷で働いて、岡谷に住み続けていただきたいし、大学卒業後も岡谷戻ってきていただきたい。そんな風に思えるまちづくりをしたいと考えている。